



No.142

ごが 議会だより



かとり ゆら
香取 優良さん



あらい よしと
新井 義人さん



さこう りゅうと
酒匂 琉斗さん

- 平成28年12月定例会
- 常任委員会
- ここが聞きたい一般質問
- 中学生議会が開催されました

今回の表紙を飾るのは川妻認定こども園おひさまの園児さん達です。



「議会だより」をスマートフォンなどでも見ることができます

平成28年12月定例会（第4回）

平成28年第4回定例会を12月6日から13日までの8日間の会期で開催しました。

本定例会では、平成28年度一般会計補正予算をはじめ、五霞町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定等17件の議案等が提出され、全ての議案を原案のとおり可決・採択しました。

これに先立ち、総務文教委員会・経済建設委員会を開催し、関連議案について審議しました。



また、町政全般にわたる一般質問には4名の議員が登壇し、町執行部の考えをたどしました。

意見書を提出

定例会で採択された陳情について、地方自治法に基づき、意見書を内閣総理大臣等に提出しました。

（なお、文章は要約して掲載しています。）

○奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書

- 1 貸与型から給付型へ、奨学金制度を抜本的に転換し、大学等において国の給付型奨学金制度を導入するとともに、高校を含めて拡充すること。
- 2 貸与型奨学金は無利子とし、延滞金は廃止（廃止までの間、返済金は元金・利息・延滞金の順に充当）すること。また、所得に応じた無理のない返済制度をつくり、返済困難者の実情に即して適切な救済を行うこと。
- 3 大学等の学費の引き下げや授業料減免の拡充等を図ること。

選挙管理委員・同補充員の選挙が行われました

五霞町選挙管理委員会委員・同補充員の任期満了に伴い、選挙が実施されました。

（任 期 平成29年1月29日

～平成33年1月28日）

当選者は次のとおりです。

選挙管理委員	同補充員
猿橋 幸男 氏	猿橋 延保 氏
篠崎 芳高 氏	石塚 廣司 氏
鈴木 一正 氏	細井 清 氏
山口 定男 氏	大澤 満 氏

平成28年第4回定例会で可決した議案等は下記のとおり。

議案第57号	五霞町監査委員の選任の同意について 地方自治法第196条第1項の規定に基づく選任同意 岩崎 明良 氏（継続）
議案第58号 ③	五霞町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例 農業委員会等に関する法律の改正によって、 1 農業委員の選出方法が議会の同意を要件とする市町村長の任命制へ変更 2 農業委員会に農地利用の最適化を推進する農地利用最適化推進委員を新設 上記1、2について、その定数と報酬額をそれぞれ制定（新規）
議案第59号	五霞町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく給与改定
議案第60号	五霞町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく給与改定
議案第61号 ③	五霞町税条例の一部を改正する条例 地方税法の改正に伴う条例の一部改正
議案第62号 ③	五霞町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 地方税法の改正に伴う条例の一部改正
議案第63号 ③④	平成28年度五霞町一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ1億2,396万円の追加補正 （歳入）学校施設環境改善交付金 1,985万1千円追加 農地集積総合支援事業補助金 338万7千円追加 ほか （歳出）小・中学校の空調機設置のための工事費等 1億488万4千円追加 農林水産業費 担い手育成支援事業 381万9千円追加 ほか
議案第64号 ③	平成28年度五霞町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ6,020万円の追加補正
議案第65号 ③	平成28年度五霞町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ22万円を追加補正
議案第66号 ③	平成28年度五霞町介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ2,588万円を追加補正
議案第67号 ③	平成28年度五霞町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ5万円を追加補正
議案第68号 ③	平成28年度五霞町水道事業会計補正予算（第2号） （収益的支出）職員人件費1万円を追加補正 （資本的支出）職員人件費3万円を追加補正
選挙第1号	五霞町選挙管理委員会委員・同補充員の選挙について 選挙管理委員4名・同補充員4名の当選（2ページを参照）
発議第3号	五霞町議会会議規則の一部を改正する規則 不足規定を整備
意見書第2号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書
陳情書3号 ③	「奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書」の採択を求める陳情書（採択）

③=総務文教委員会付託 ④=経済建設委員会付託

常任委員会

Q & A

Q 小・中学校のエアコンの設置について、どういった設備を予定しているのか。

A 今回設置するのは、基本的に普通教室で、小・中学校合わせて39の普通教室に設置する予定です。1つの室外機で複数の教室に設置することが可能な仕様で、エアコン自体は天井に設置することを考えています。

Q ふるさと応援寄附金について、東京都などの自治体では、他自治体への寄附金が多いと聞かすが、五霞町からの寄附金はどのくらいか。

A 平成27年度の実績で、五霞町にふるさと応援寄附金としていただいた額は222万7千円です。一方、五霞町の方が他市町村に寄附したことによる税額控除は198万8千円でした。

Q 西児童館の修繕について、屋根材がひび割れしたということだが、原因は。

A 屋根に子供が乗っていたという情報があり、足で踏んだ部分が今回割れてしまったのではないかと状況です。危険性を考慮し、屋根に登れないように早急に対応しましたが、いたずら等されないよう考えているところです。

Q 前年度から比較して、医療費が大変伸びているが、原因は。

A 顕著な傾向として、入院、手術の件数が伸びていることです。一番高額な例では、1人でひと月に880万円の医療費というものもありました。五霞町は小さい市町村なので、高額な案件が発生すると受ける影響が大きくなります。

Q できるだけ薬剤代を抑えるため、ジェネリックと言われている後発医薬の普及はどうか。

A ジェネリックの使用に関しては、近年進んできており、直近で五霞町においては、おおむね67%がジェネリック医薬品を使用しているという報告を得ています。

Q 農業委員会等に関する法律の改正によって、農業委員会に農地利用最適化推進員が設置されるが、推進員の活動内容については、町が率先して、どこをどんなふう集積するとか示していく必要があるのではないか。

A 既に4月から、県内の半数の農業委員会で新たな制度が始まっており、この推進員の活動内容は、どこの市町村も手探りの状態です。推進員の立場としては、いかに農地の利用度を上げるか、荒廃農地を作らないかということが役目になってくると思うので、国の方針を踏まえ、既に始まっている事例をよく聞きながら移行に向けて準備をしたい。

Q 町では、女性の農業委員を置く予定・計画はあるのか。

A 国の方でも積極的に女性を登用していくような方針であり、五霞町においても推薦又は公募いただいた中で女性の方がいれば、積極的に農業委員としてお願いしたいと考えています。

● 議会トピックス ●

宇野進一 議長 全国町村議会議長会から自治功労者として表彰

平成29年2月8日、議会活動等を通じた地方自治進展のための多大なる尽力が高く評価され、その功労に対し自治功労者として表彰されました。

宇野進一議長は、平成13年12月16日に初当選以来、15年以上在職し、町議会議長を平成21年5月から23年4月まで、平成27年5月から現在まで歴任しています。



大久保 帝二 議員



問 地域公共交通について

答 町として必要な公共交通体系の構築を目指す

問 ごかりん号が1年目でルートを変更した経緯は。

生活安全課長 日中ルートは全行政区を通ることを目途にスタートした。利用状況は特に大福田・山王方面を回る東ルートの利用者が減少傾向で、東西ルートとも利用バス停が限定的で、利用者がゼロのバス停もあった。そこで、アンケート調査でニーズの高かった南栗橋駅へのアクセス、利用者の多いバス停を中心に、毎日同じルートを同じ時間に通ることによって定着が図れるという中で、ルートを変更した。

問 利用者の増加も大切であるが、ルートがなくなった地域の方には残念な思いがある。

そうした、ルート見直しで遠のいた沿線住民への配慮は。

生活安全課長 社会福祉協議会へ委託して実施している公共交通空白地有償運送の周知徹底を図り、推進していき

たい。この事業は、バス停までの移動が困難な方や高齢者の通院、買い物等のドア・ツー・ドアの移動手段として有効な事業であり利用促進を図っていく。

問 今後の取組みは。

町長 幸手駅とを結ぶ「路線バス」、南栗橋駅とを結ぶ「ごかりん号」、高齢者等の生活を担

う「公共交通空白地有償運送事業」の3つをミックスさせ、交通弱者と呼ばれる方々の移動手段を確保する。町の情勢の変化等も見極めながら、町として必要な公共交通体系の構築に努めていく。



新規導入した「ごかりん号」

問 県道幸手・境線上船渡橋の安全対策について

答 幸手市と連携し進めていく

問 上船渡橋の安全対策として、片側交通で信号機設置は。

都市建設課長 上船渡橋前後で3か所信号機が続き、これ以上の設置は難しい。

問 上船渡橋の架け替えの見通しは。

都市建設課長 橋を所管する杉戸県土整備事務所に確認したところ、現在は(仮称)新上船渡橋の整備を最優先で進めており、現橋の架け替えは、新橋の完成後の中川河川改修事業により関

係機関との綿密な協議調整を図った上で進めていきたいとのことである。

町長 今後、埼玉県へ幸手市とともに強く要望していく。



問 農業振興及び町の特産品の進捗状況は

答 土地集積に中間管理機構を利用して伸ばす

問 農業振興において土地の集積状況は。

産業課長 農地中間管理機構事業の経営転換協力金や地域集積協力金などの機構集積協力金の交付を活用し進めている。26年度1.5ha、27年度0.8ha、28年度11.9haと11月末で集積率28.18%。管理機構において、「モデル地区の設定を」とあり、山王地区に決定し進めた結果、約8ha集積が図れた。

町長 今後も国の制度を活用しながら、土地集積を農家所得の向上のため、各地域の農家の理解のもと進めたい。

問 特産品の開発進捗状況は。

産業課長 八つ頭コロケは、道の駅ごかで1個150円と比較的高めの価格設定だが、平日80個～90個、土日は100個程度売上げる人気商品となっている。

町長 八つ頭コロケは、道の駅でPRしながら販売している。生産者の確保、品質の統一をし、今後も研究して年間を通して販売できるよう努めていく。道の駅へ出荷する後継者の育成も進めたい。

土地の集積面積

年度	集積面積(ha)	集積率(%)
26	1.5	26.54
27	0.8	27.01
28	11.9	28.18

※28年度は、11月末現在

問 高齢化が進む町の介護の現状、今後の対策は

答 在宅介護が増加傾向にあり、地域支え合いの仕組みを確立

問 町の65歳以上の割合が総人口の30%と多いが、介護を取り巻く現状は。

健康福祉課長 10月1日現在、町内にある特別養護老人ホームで、90名定員に対し86名入所、待機者38名、うち町内待機者12名。この施設は、デイサービスも併設、定員30名に対し27名が利用。また、認知症高齢者が入居するグループホームも定員9名で満室である。社会福祉協議会のデイサービス事業所は定員39名で、こちらも空きのない状態である。今年2月に開所したサービス付き高齢者向け住宅は、10名が入所、定員20名のデイサービスは13名が利用している。現在、施設型給付費は横ばい。在宅サービスが増加傾向にあり、今回の補正予算で在宅給付費を増額した。

くり、みんなで支え助け合う。総合事業を進め、全ての高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりを構築する。

労働など労働環境が厳しい状況下でありサービス低下の苦情もある。定期的に指導し、事故防止、処遇改善に努めたい。

問 介護従業者の勤務状況は。

健康福祉課長 人員不足、超過



シルバーリハビリ体操の様子

町長 地域支え合い協議体をつ



問 水道事業の現状と今後について

答 広域連携を視野に方向づけたい

問 年間総配水量は。

上下水道課長 町には2系統の水源があり、利根川表流水と埼玉県水は約半々を使用、直近5年平均は年間144万 m^3 。

問 ロスしている水、日量130万 m^3 は妥当か。

上下水道課長 表流水の浄水過程では水質の濁り・臭気・土砂の流入など、配水過程では漏水や修繕工事等に伴う水抜きなどがある。

問 給水原価と供給単価は。

上下水道課長 直近5年平均は給水原価290円/供給単価215円。売上に対し経費が35%上回っている。

問 思川開発事業に係る負担金は。

上下水道課長 事業負担金は事業主体ごとに区分され、既に約

9,000万円を支出している。

問 水は暫定水利権(毎秒0.04 m^3)で足りている、安定水利権(毎秒0.1 m^3)分は必要か。

上下水道課長 計画水量(日量)11,500 m^3 とした場合、安定水利権分は必要。

問 今後の方向性は。

町長 埼玉県との広域連携を視野に、上下水道事業審議会でも検討いただき、水道事業運営を方向づけたい。

思川開発事業に係る事業負担金

1	南摩ダム建設事業	
	事業主体	水資源機構
	当初の総事業費	1,850億円
	支出分	ダム完成後の事業費確定後に発生
2	南摩ダム水源地域整備事業	
	事業主体	栃木県と鹿沼市
	町負担分	約1億9,000万円
	支出分(H16年度～H27年度)	約6,270万円
3	思川開発施設基金事業	
	事業主体	利根川・荒川水源地域対策基金
	町負担分	約3,700万円
	支出分(H12年度～H27年度)	約2,740万円



思川事業の位置

問 運転免許自主返納者支援事業について

答 公共交通の体系整備を図り、他事例も検討

問 高齢者人口や高齢者免許人口は。

生活安全課長 いずれも今日の高齢化社会を反映し大幅に増加している。

問 高齢運転者による交通事故は。

生活安全課長 県内発生件数は減少しているが、構成比は増加している。

問 運転免許自主返納者支援事業は。

生活安全課長 県は実施していない。県内10市町村で交通機関を利用できるよう返納者支援を実施、五霞町では実施していない。

問 高齢者が事故を起こす前に、環境を自治体が提供する必要はないか。

町長 警察での免許更新時の検査強化や、国・自動車メーカーでの車両本体メカニズムの開発も願う。公共交通体系の整備を図るとともに町もほかの事例等よく検討していきたい。

※他に、個人住民税の特別徴収税額通知書へのマイナンバー記載について問いました。



問 圏央道インター周辺開発について

答 商業施設の誘致は計画どおり進めたい

問 五霞町は業務代行方式を取り入れているが、その内容とメリットについて伺う。

都市建設課長 業務代行型の土地区画整理事業とは、民間事業者が保留地の取得を条件とし土地区画整理組合からの委託に基づき資金調達から事業の施工、企業誘致までを代行する方式のことである。メリットについては、行政にはない資金調達力と民間特有の円滑で迅速な対応などが挙げられる。

問 今回の開発地域がA、B、Cブロックに分けてあるが、当初の計画について伺う。

都市建設課長 当初の計画としては新4号国道沿線のA及びBブロックについては商業施設、Cブロックについては商業・工業・物流など複合的な土地利用

の推進を業務代行者とともに図ってきたところである。

問 Aブロックの商系から流通系になった経緯について伺う。

都市建設課長 新4号国道に対して奥行きがなく、面積を含めた土地の形状から奥に店舗、手前に駐車スペースという配置が難しいことと、新4号国道が6車線化になった時に段差が生じ直接入り込めないことが理由である。

問 Bブロックの商業施設の誘致の現状と今後の見通しについて伺う。

副町長 業務代行者の方では幅広い業種、商系の事業者数十社に、関東にとどまらず、全国に至るまで営業活動を実施していると伺っている。しかし、残念

ながら現時点では報告できるような状況には至っていない。また、県の立地推進東京本部、それに県の立地推進室とも連携を図りながら誘致決定の報告ができるよう努めていく。

問 道の駅に隣接する7,300㎡の開発用地については、圏央道の開通とともに利用者の増大が見込まれる道の駅に関連する施設の用地として、町が取得をしておくべきと考えるが、その考えがあるかどうか伺う。

町長 道の駅の慢性的な駐車場不足ということで、大変利用者に不便をかけている。今回のインター周辺開発事業に合わせて解決すべき問題だろうと認識しているところである。



造成工事中の「道の駅ごか」東側

中学生議会が開催されました

11月17日、役場本会議場において、五霞中学校1・2年生による平成28年度五霞町中学生議会を開催しました。

中学生議会は、町議会並びに町執行部が次代を担う中学生の率直な意見・要望を聴取し、今後の町政に反映させ、将来も住み続けてもらえるような魅力や夢のあるまちづくりをするために開催したものです。

中学生議員は、各クラスの代表12人で、そのうち6人が町に対して事前にクラスの中で協議した意見や要望などを質問し、その質問に対して町長や関係課長等が答弁しました。

(※要約した答弁は10・11 ページ参照。)



五霞町中学生議会議員名簿

議席番号等	氏名	学年・学級
	いづか ともひと 飯塚 朋仁	
	あきやま こうき 秋山 航輝	
	あらい たくみ 新井 拓海	
	みた まいか 三田 舞香	
	きし ゆいな 岸 ゆいな	
	おいぬま ゆず 笈沼 柚翠	
	きむら みづき 木村 美月	
	うちだ しょうた 内田 翔大	
	かね こ まさゆき 金子 真之	
	まつもと こうた 松本 昂大	
	あらい ゆうき 新井 裕貴	
	なかざと ふみや 中里 文哉	

質問事項

圏央道 I C 周辺地域への大型ショッピングモール・ 大手企業の施設誘致はどうなっているか

問 町民がより住みやすい町として発展していくために、どのような大型商業施設が誘致されていく予定なのか。また、五霞インターチェンジが開通したことにより、多くの企業にとって五霞町は、より魅力的な地域になると考えているが、誘致される企業についてお聞きします。

都市建設課長 町では、交通基盤の整備効果を地域の振興・発展につなげるため、インターチェンジ周辺地区を、ABC3つのブロックに分けて整備をしています。

町長 商業施設誘致については、住民の皆さんのアンケートで一番希望が多かったことから、関係者の方々と連携しながら、全力で誘致を進めたい。また、Cブロックは、大規模な物流施設を建設することが決まっており、千人程度の雇用が生まれます。今後も引き続き、優良企業の誘致を進めたい。

問 大型商業施設など企業誘致は、着々と進んでいるということですか。

町長 はい。将来に向けた五霞町に合った企業誘致をしていきたい。



質問事項

利根川の河川敷、総合運動公園用地の活用をすべき では



問 五霞町の近くには、利根川の河川敷や大きな公園などが多くあり、この河川敷などを活用して年に数回ウォーキングやレクリエーション大会、公園ではお花見やお祭りを実施することによって、町全体に活気が出て、また、絆を深め、町の雰囲気も変わってくると思います。これらの活用法について、町の考えをお聞きします。

政策財務課長 河川敷や公園用地の活用については、河川の増水や財政的な問題、利用者の減少など様々な理由で中止又は取りやめとなっており、新た

な活用方法を検討しています。

町長 平成31年の茨城国体で、町はウォーキングを開催する予定ですので、これを契機に大会など健康づくりのイベントを開催したい。境町、野田市、五霞町の3市町で広域連携し、町では水防センターを設置することとしているが、そこに休息スペース等も配置することによって、観光の拠点としても活用し、また、道の駅等とも連携を図り、観光資源としての活用も今後検討していきたい。

質問事項

五霞の食材を生かして特産品やグルメ料理の開発を 進めるべきでは

問 五霞町は、おいしいお米や野菜がたくさん収穫され、いわゆるご当地グルメと呼ばれるものが多くあります。しかし、これらは余り知られていないように思われます。季節ごとのイベントやインターネットで、おいしい食材をアピールすることが必要です。また、新たなメニュー開発も小中学生の発想を取り入れれば、活気が生まれます。これらについて、町の考えをお聞かせください。

町長 五霞の食材を生かした特産品やグルメ料理は、一つは八つ頭コロッケがあります。また、五霞町のそばを100%使っ

たそば焼酎「川霞」があり、大変好評をいただいているなど、町では五霞の食材を生かした特産品やグルメ料理の開発・販売に努めています。また、小中学生の皆さんからも、良いアイデアをぜひお寄せいただきたい。

産業課長 道の駅PRについて、年間を通して「ごかりん祭り」や「お客様感謝フェア」を開催しています。また、ご当地グルメ等のPRは、不定期ですが東京で行われる「町イチ！村イチ！」など出店しています。また、インターネットでの販売も順調に推移しています。



質問事項 教育環境を充実してほしい

問 恵まれた環境下にある五霞中ですが、更に整えてもらいたいものがパソコンとエアコンです。学校にあるパソコンの約半分がバッテリーの寿命が近づいており、すぐに充電が切れてしまいます。また、パソコン本体が重く、持ち運びが不便です。また、エアコンは特別教室しか設置されていません。健康的な学習環境を整える意味でも、ぜひ普通教室にエアコンの設置をお願いします。

教育長 パソコンを導入して5年を迎え、授業の一環として定着し、一定の

成果を上げていることと、使用に際して支障が出てきていることも伺っています。再構築に向けまして、様々な観点から検討を進めています。

教育次長 平成29年8月末でリース期間が満了することから、再構築に向けて準備を進めているところです。

町長 国の経済対策の一環で補正予算が確保され、国にエアコン設置について補助申請をしたところ、採択の内定をいただいた。今後、工事の方もできるだけ早期に実施していきたい。



質問事項 町民が安心して暮らせるための対策について



問 五霞町は、水と緑の美しい町です。また、堤防も整備されて安心して暮らすことができている。しかし、そんな五霞町でも大きな自然災害が起きる可能性はゼロではありません。町としての災害の対策、交通事故や犯罪発生時の対策について、町の考えを聞かせてください。

町長 洪水に対する備えを強化するとともに、72時間、約3日前から住民、町、関係機関が情報を共有して、また伝達をして避難行動などそれぞれが行うべき行動を具体的に定める、タイムライ

ンを作成しています。役場と町民の皆さんが一体となって安心・安全に暮らせるように、災害に強いまちづくりを進めたい。

生活安全課長 洪水対策として水防計画を、災害関連対策として洪水ハザードマップ、地震ハザードマップを作成し、町内全戸に配布しています。交通安全対策では、歩道の整備を進めており、防犯対策で道路照明53基、防犯灯717基が設置済みで、また防犯カメラの設置も予定しています。

質問事項 政治を身近なものに感じるための議会のあり方について

問 選挙権の年齢が18歳に引き下げられ、政治をより身近に感じられるようにすることが必要だと思います。しかし、町議会の公開が、現在は平日昼間の開催で、町民がなかなか傍聴できないということも原因の一つだと思いますが、自分たちの町の議会で何が行われているのかわからない私たちが、国の政治に関心を持てるとは考えられません。

以上の点を踏まえた上で、考えをお聞きます。

議会議長 この役場庁舎も建ててから53年経過して、庁舎をどこかで建てなくてはならない。その時にインターネットを利用した配信等の設備を設けようと考えています。また、議会では会議録を作成しています。今後、町のホームページ上で誰でも即見られるように公開をしていきたいと思っております。そして、土・日曜日、あるいは夜間の議会開催の要望に対しましては、改めて検討していきたい。そして、少しでも身近に感じていただけるような開かれた町議会を目指したい。



● 議会トピックス ●



今回の議会トピックスは、この「ごか議会だより」を編集発行している、広報編集特別委員会を取り上げます。

ごか議会だよりは、年4回、議会が開催される月の初日を発行日として、主に前回どういった内容が議会で審議され、決定したかということをお知らせしています。

発行するにあたって、広報編集委員は3回の編集会議を行っています。1回目の会議では、全体の方針、ページ数や内容等の概略を決定します。その後2回目の会議で、重点的に文章や写真等の記事内容の妥当性を判断し、変更や修正を行っています。そして、3回目の会議で最終的な確認を行い、印刷、発行となります。

ごか議会だよりは、平成28年6月1日発行のNo.139から、より分かりやすく、また1人でも多くの方に手に取っていただけるよう、大幅にリニューアルをしました。

これからも継続して、より良い議会広報発行に努めていきたいと考えております。

わかりやすい議会 Q&A

Q：議会でされる「一般質問」ってなんですか？

A：「一般質問」とは、議員が議案とは関係なく、行政全般の事務の執行状況や政策方針等を口頭で質問し、疑義を問うことをいいます。

Q：なぜ質問を事前に通告(お知らせ)するの？

A：質問の内容を把握し、的確な回答をすることによって、効率的な議会運営を行うためです。

Q：定例会以外の議会で一般質問は行われますか？

A：一般質問は定例会に限って認められるもので、臨時会では行われません。

編集後記 編集委員 植竹美智雄

新年を迎え、早2か月が過ぎ、春を感じさせる草花も芽を吹きだした今日この頃、皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

年の始まりから過去にない大寒波に見舞われ、各地で大雪となりました。その中において私たちが住んでいます五霞町はほとんど自然災害に遭わないすばらしいところだとつくづく感じました。

今年から五霞IC周辺開発も本格的に建物の工事も始まるということで風景が一変しそうです。風景での話になりますが、今、強化堤防工事が急ピッチで進んでいます。この前、堤防の上の道路を栗橋から山王中之島公園あたりまで自転車で行ってみましたら、町の様変わりしている一部を見ることができました。

皆さんもたまには堤防の上を散歩なり、自転車で走ってみてはどうでしょう。

今年も皆さまの議会傍聴をお待ちしております。

議会の動き(12月～2月)

12月6日	第4回定例会初日	2月21日	町村議会議員自治研究会
12月7日	総務文教委員会	2月22日	議会運営委員会
12月8日	経済建設委員会	〃	議会全員協議会
12月9日	一般質問		
〃	議会全員協議会		
12月13日	第4回定例会最終日		
12月21日	議会全員協議会		
1月12日	広報編集特別委員会		
1月20日	議会全員協議会		
2月2日	広報編集特別委員会		
2月17日	広報編集特別委員会		

次回定例会予定

3/3(金)～3/16(木)

問い合わせ先 TEL・FAX 0280-84-1138

一般質問予定日は

3月14日(火)・15日(水)
お気軽に傍聴においでください

広報編集委員会

委員	長	板橋英治
副委員	長	新井庫光
委員	員	高橋宏光
		植竹美智雄
		宇野進一
		大久保帝二